



平成 29 年 4 月 25 日

安曇野市議会議長 濱 昭次 様

会 派 名 民心・無所属の会
 代表者氏名 荻原 勝昭 ⑩
 経理責任者氏名 増田望三郎 ⑩



平成 28 年度政務活動費収支報告書

安曇野市議会政務活動費の交付に関する条例第9条の規定により、平成28年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収支決算

収入の部

(単位：円)

項 目	決 算 額	備 考
政務活動費	360,000	90,000 円×4 人
合 計	360,000	

支出の部

項 目	決 算 額	備 考
調査研究費	8,110	情報公開請求コピー代
	7,366	視察交通費
	66,040	調査研究交通費 ・調査研究（平成29年2月15日、京都市内） 交通費 19,460 円（JR代 19,000 円、京都市バス代 460 円） ・調査研究（平成29年2月26日、東京都区内） 交通費 13,960 円（JR代 13,620 円、地下鉄代 340 円） ・調査研究（平成29年3月1日、京都市内） 交通費 19,000 円（JR代 19,000 円） ・調査研究（平成29年3月27日、東京都区内） 交通費 13,620 円（JR代 13,620 円）
	59,680	・平成28年4月8日分 研修参加費 15,000 円 交通費 11,020 円（JR代）

		・平成29年2月13～14日分 研修参加費 22,000円 交通費 11,660円 (JR代)
	5,000	みどりネット信州会費
資料購入費	164,418	書籍・新聞等購入費 (165,528円のうち164,418円を充当)
広報費	24,691	広報紙の作成・折込広告代 (111,180円の内、24,691円を充当)
	11,025	ホームページの運営管理費 (44,100円のうち11,025円を充当)
広聴費	13,670	会派活動報告会 会場代 6,330円、資料作成代 1,280円、案内はがき代 1,560円、託児代 4,500円
合 計	360,000	

2 収入支出差引残高 0 円

備考

- 1 備考欄には、主たる収入支出の内訳を記載すること。
- 2 政務活動実施状況（別紙）を添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	情報公開請求	
活動区分	①調査 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	情報公開請求により出てきた情報をもとに、政策立案や政策見直し等につなげるため。	
活動の概要	日時	随時
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	・情報公開請求は次の機関に対して行った。 安曇野市 農業委員会 教育委員会
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	・議員に限らず市民がわがまちの身近な政治に関心を持ち、どんどん情報公開することで、行政が開かれ、風通しがよくなり、市民に近い政治が実現すると考え、積極的に情報公開請求を行っている。 ・「農地パトロールや農地転用変更申請に係わる文書」や「体育館建設研究会答申書に係わる文書」、「社会就労センター運営業務委託に係わる文書」等では、公文書公開しなければ出てこなかった情報や事実が明らかになり、政策提案や問題提起につなげることができた。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	南部総合体育館建設計画に関する庁内会議資料の情報公開請求	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	総合体育館建設計画の是非についての調査	
活動の概要	日時	平成28年8月24日
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	公式スポーツ施設整備計画についての庁内会議資料の情報公開請求における公文書のコピー。
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	総合体育館建設にあたり、庁内会議における議事録・資料の内容を確認するため。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	新潟県長岡市民体育館等の視察	
活動区分	①調査 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	安曇野市の新総合体育館建設計画の検討にあたり、類似施設を持つ自治体の実情を把握し、よりよい施設設計と確実な財政見通しにつなげること。	
活動の概要	日時	平成28年11月11日(金)
	研修先・主催者等	新潟県長岡市
	報告内容・実施したこと。	・新潟県長岡市民体育館、アオーレ長岡、長岡市役所を視察した。
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡市の市民体育館は、施設面積が 8,065 m²、2階客席数 1,000 席と、安曇野市の現段階で公表されている施設とほぼ同規模であることから、今回の視察先として選んだ。 ・実際に視察してみた際の感触としては、施設内も施設外構も過大な印象を受けた。維持管理費については、ソフト面での対応を別にすれば、直営でも指定管理でも大差ない状況であった。 ・平成24年オープンの複合交流施設(長岡市役所本庁舎、長岡市議会議場、ホール、屋根付き広場等)にはアリーナもあり、興行的なスポーツやイベントはこちらがメインになっているので、市民体育館の位置づけも変わってきている。 ・ほかにも参考になる状況が多く見て取れたので、安曇野市の新総合体育館建設計画の策定に当たって、会派からの提案の参考とした。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	京都市内における地域の絆づくり、および学校と地域の連携の取り組みについての調査研究	
活動区分	①調査研究	
活動の目的	京都市内における地域の絆づくり、および学校と地域の連携の取り組みについて学び、安曇野市の地域の絆づくり、学校と地域の連携の推進の参考とする。	
活動の概要	日時	平成 29 年 2 月 15 日 (水) 午前 11 時 00 分から 午後 3 時 00 分まで
	研修先・主催者等	カフェ“ふらっと紫竹”(京都市立紫竹児童館(京都市北区)) 社協副会長 谷田(たにた)恭一さん、京都市立紫竹小学校(京都市北区) 岡嶋ひとみ校長、栗原典生教頭
	報告内容・実施したこと。	<p>往路はJR豊科駅からJR京都駅へ行き、JR京都駅前から市バスで下岸町へ行った。復路は逆経路。</p> <p>カフェ“ふらっと紫竹”は、毎月第3水曜日に気軽に誰でもふらっと立ち寄れるカフェで、お年寄りが多いが、小さな子連れのお母さんたちもいた。コーヒー・ゆで卵・トースト・果物セットで100円。ゆったりとしたいい雰囲気、地域の絆は防災・防犯・環境美化などにも役にたつと思う。</p> <p>京都市立紫竹小学校は、紫竹小学校学校運営協議会を運営していて、地域の人たちに開かれた学校となっている。放課後学び教室なども活発に運営されていて、学校と地域の連携の好事例だと思う。</p> <p>有効な事業等の理解が進んだが、京都市の他に他市町村の取り組みについても学ぶ必要があると感じた。</p> <p>これらの視察を安曇野市の地域の絆づくり、および学校と地域の連携の推進の参考とし、発展に貢献したい。</p>
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	京都市内の先進的な地域の絆づくり、および学校と地域の連携の取り組みを参考にし、安曇野市の地域の絆づくり、および学校と地域の連携の推進の取り組みを向上させたい。そして、安曇野市政の発展に貢献したい。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	東京都内における観光誘客、特にインバウンド（訪日外国人旅行者）誘客の取り組みについての調査研究	
活動区分	①調査研究	
活動の目的	東京都内における観光誘客、特にインバウンド（訪日外国人旅行者）誘客の取り組みについて学び、安曇野市の観光誘客、特にインバウンド（訪日外国人旅行者）誘客の推進の参考とする。	
活動の概要	日時	平成 29 年 2 月 26 日（日） 午前 11 時 30 分から 午後 4 時 00 分まで
	研修先・主催者等	浅草文化観光センター（台東区浅草）、谷中ぎんざ（台東区谷中）
	報告内容・実施したこと。	<p>往路はJR豊科駅から東京都区内のJR上野駅へ行き、上野駅から地下鉄浅草駅へ行った。浅草駅から上野駅に戻り、日暮里近くの谷中に行ってきた。復路は逆経路。</p> <p>浅草文化観光センターは、浅草雷門の正面に位置していて、日本人のみならず大勢の外国人に対応していた。多言語対応もWi-Fiもあったが、コンピューター検索サービスには問題があった。当日開催中の東京マラソン2017への地域の協力についても学んだ。地元がボランティアで協力をしているということがよくわかった。</p> <p>谷中ぎんざは、レトロな雰囲気が大変魅力的で、日本人のみならず外国人にも人気のスポットとなっている。商店街の努力が素晴らしいと思う。</p> <p>有効な事業等の理解が進んだが、東京都内の他に他市町村の取り組みについても学ぶ必要があると感じた。</p> <p>これらの視察を安曇野市の観光誘客、特にインバウンド（訪日外国人旅行者）誘客の推進の参考とし、発展に貢献したい。</p>
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	東京都内の先進的な観光誘客、特にインバウンド（訪日外国人旅行者）誘客の取り組みを参考にし、安曇野市の観光誘客、特にインバウンド（訪日外国人旅行者）誘客の推進の取り組みを向上させたい。そして、安曇野市政の発展に貢献したい。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	京都府・市および名古屋市における観光案内、特にインバウンド（訪日外国人旅行者）への観光案内の取り組みについての調査研究	
活動区分	①調査研究	
活動の目的	京都府・市および名古屋市における観光案内、特にインバウンド（訪日外国人旅行者）への観光案内の取り組みについて学び、安曇野市の観光案内、特にインバウンド（訪日外国人旅行者）への観光案内の推進の参考とする。	
活動の概要	日時	平成 29 年 3 月 1 日（水） 午後 1 時 00 分から 午後 6 時 30 分まで
	研修先・主催者等	京都総合観光案内所（愛称「京（きょう）なび」）（京都市下京区）、名古屋市名古屋駅観光案内所（名古屋市中村区）
	報告内容・実施したこと。	<p>往路はJR豊科駅からJR京都駅へ行き、復路はJR京都駅からJR名古屋駅へ行き、JR名古屋駅からJR豊科駅へ戻った。</p> <p>京都総合観光案内所（愛称「京（きょう）なび」）は、昨今の観光人気と京都人気で大勢の観光客でごった返していた。日本人観光客より外国人観光客の方が多く、多言語での案内はスタッフやパンフレットでなされていた。Wi-Fiは完備されていた。</p> <p>名古屋市名古屋駅観光案内所は、丁寧な説明で、目玉の名古屋城以外にはそれほど観光スポットがないために、日帰りや通過も多いとのことだった。Wi-Fiは完備されていた。</p> <p>有効な事業等の理解が進んだが、京都府・市および名古屋市の他に他市町村の取り組みについても学ぶ必要があると感じた。</p> <p>これらの視察を安曇野市の観光案内、特にインバウンド（訪日外国人旅行者）への観光案内の推進の参考とし、発展に貢献したい。</p>
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	京都府・市および名古屋市の先進的な観光案内、特にインバウンド（訪日外国人旅行者）への観光案内の推進の取り組みを参考にし、安曇野市の観光案内、特にインバウンド（訪日外国人旅行者）への観光案内の推進の取り組みを向上させたい。そして、安曇野市政の発展に貢献したい。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	東京都内におけるアンテナショップおよびセレクトショップなどの取り組みについての調査研究	
活動区分	①調査研究	
活動の目的	東京都内におけるアンテナショップおよびセレクトショップなどの取り組みについて学び、安曇野市の物産販売および安曇野ブランド発信の推進の参考とする。	
活動の概要	日時	平成 29 年 3 月 27 日 (月) 午前 11 時 00 分から 午後 3 時 30 分まで
	研修先・主催者等	武蔵野市・友好都市アンテナショップ「麦わら帽子」(東京都武蔵野市)、EHIMADE (エヒメイド) / 吉祥寺店 (東京都武蔵野市)、Coppice KICHIJOJI (コピス吉祥寺) (東京都武蔵野市)
	報告内容・実施したこと。	<p>往路はJR豊科駅から東京都区内JR新宿駅を經由してJR吉祥寺駅へ行った。復路は逆経路。</p> <p>武蔵野市・友好都市アンテナショップ「麦わら帽子」では、安曇野市の産直センターから運ばれた安曇野産の物産が販売されていて、売り上げは9つの友好都市の中では2番目とのことだが、品揃えなどで問題があった。</p> <p>EHIMADE (エヒメイド) / 吉祥寺店は、初めはアンテナショップだったが、今はセレクトショップとして独自に経営している。</p> <p>Coppice KICHIJOJI (コピス吉祥寺) は、大型商業施設で、武蔵野市・友好都市アンテナショップ「麦わら帽子」は、ここでのイベントにも参加している。</p> <p>有効な事業等の理解が進んだが、東京都内の他に他市町村の取り組みについても学ぶ必要があると感じた。</p> <p>これらの視察を安曇野市の物産販売および安曇野ブランド発信の推進の参考とし、発展に貢献したい。</p>
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	東京都内の先進的なアンテナショップおよびセレクトショップなどの取り組みを参考にし、安曇野市の物産販売および安曇野ブランド発信の推進の取り組みを向上させたい。そして、安曇野市政の発展に貢献したい。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	一般社団法人行政改革推進協会の研修参加	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	介護保険制度の改正と地域包括ケアシステムの構築についての基礎知識、先進事例を学ぶため。今後の議員活動の政策提案に活かすため。	
活動の概要	日時	平成28年4月8日午後2時～4時30分
	研修先・主催者等	主催：一般社団法人行政改革推進協会 開催地：名古屋ダイヤビルディング2号館
	報告内容・実施したこと。	講義内容 1、福祉施策を取り巻く環境 2、介護保険制度改正の概要
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	研修報告書は別紙

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

議員研修レポート

2016年4月19日
安曇野市議会議員 増田望三郎

以下、議員研修に参加してのレポートを提出いたします。

- 研修名：地域包括ケア特別講座「地域福祉政策の立案に向けて」
- 主催：一般社団法人行政改革推進協会
- 日時：4月8日（金）午後2時～4時30分
- 開催地：名古屋ダイヤビルディング2号館
- 講師：瀬戸恒彦氏（公益社団法人かながわ福祉サービス振興会理事長）

【安曇野市で取り組みたいこと】

講座の中で一番強く残ったのは、「地域包括ケアシステムを高齢者だけでなく、障がい者、子育て支援もその中で組み込んでいくようなシステムになるよう、議会で質問をしてほしい。」という講師の言葉だった。縦割り行政と言うが我々議員にも、同じ福祉であっても、それぞれを分けて考えてしまうところがあり、講師の投げかけは目から鱗が落ちる思いがした。既に横浜市、川崎市などはそのような縦割りを排し、既にその考え方を実践し始めているという。子育て世代や障がい者への取り組みをしている人たちも巻き込むような地域の総体的なシステムづくりが必要だと思うが、これはまさに地域づくりである。団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる2025年問題まであと9年。その視点をもって、議員の立場から地域包括ケアシステムの構築を働きかけていきたい。

【講義メモ】

1、福祉施策を取り巻く環境

- ・少子高齢化のコミュニティをどうやって築くかが課題
- ・要介護の認定者は右肩上がり。ではその施策財源は、
- ・介護保険制度は3年ごとに変わる。高齢化のスピードが速すぎて対応が必要なため。保険料と介護報酬が変わる。保険料も上がり続けている。給付額が25年度には21兆円に。介護市場の拡大。
介護報酬がマイナス改定された（小泉時代、聖域なき構造計画。民間の参入。社会保障の費用を抑制した。介護従事者の報酬が抑えられた。人材不足になりその後、報酬が上がった。）
- ・社会保障費（2014年で115兆円。国家予算が96兆円。）
5割年金（現金給付）、3割医療（現金給付）、2割福祉・介護（1割負担でサービスの現物給付）
- ・団塊の世代が2025年に後期高齢者（75歳以上）になる。
- ・認知症高齢者の大幅な増加。⇒地域で理解を進める。認知症サポーターになろう。
- ・介護人材の不足が制度の破たんを招く。
人材が定着しない。3Kイメージ。しかし現場はもっと明るい。
辞める理由の最大理由は人間関係。小さな事業所が多く、人間関係が悪くなるとやっていけな

い。報酬の低さは4番目。経営方針と自分が合わないが2番目。いい仕事が見つかったが3番目。離職を少なくするために給料を上げるとのは、原資が税金と保険料なので上げ続けるのは無理。そこで自己成長に繋がるとか働き甲斐があるということが定着に繋がる。⇒経営者・事業者のマネジメント力を高める。

2、介護保険制度改正の概要

・安倍内閣の新3本の矢

①強い経済、②子育て支援（合計特殊出生率1.8まで回復）、③社会保障（「介護離職ゼロ」）

※ただし2.07にならないと人口減になる。人口が増えないところで経済成長をしたケースは無い。今後高度成長はおき得ない。1.8では人口減。

・制度改正 ⇒重点化・効率化

地域包括ケアシステムの構築、重度は制度で軽度は地域での共助で。

医療連携、生活支援サービスの充実・強化（予防的観点の拠点）。

ある条件で自己負担を1割から2割にアップ。

・安倍首相の言う「介護離職ゼロ」というのは、特養をたくさん作って高齢者を押し込むというのではなく、地域の中、地域包括ケアシステムの中で介護離職ゼロを目指す。地域の中で高齢者、障がい者を支える仕組みをどう作るか。

・在宅医療と介護連携

急性期医療からの脱皮？

・病院から地域に戻り、その人らしく暮らせるように

・地域ケア会議。

Aさん個人だけの問題でなく、地域の課題としてそれを解決する政策として事業展開する。

介護保険制度の中で法的に位置づけられる。

地域をよくするためのマネジメント（PDCA）

3、地域包括ケアシステムの構築に向けて

・市の新総合事業への移行（平成29年4月までに）

別紙

政務活動実施状況

活動名	NPO 法人多摩住民自治研究所主催の「議員の学校」に参加	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2017 年度国家予算と地方財政の課題 ・ 介護保険改革 ・ 小中一貫教育、学校統廃合 ・ 子どもの貧困と幼児政策の課題 <p>以上 4 点についての識者の考え及び最新実践例を聴き、議員活動に活かすため</p>	
活動の概要	日時	平成 29 年 2 月 13 日午後 1 時～14 日午後 4 時
	研修先・主催者等	主催・開催地：NPO 法人多摩住民自治研究所・たましん RISURU ホール
	報告内容・実施したこと。	<p>第 1 講義 「2017 年度国家予算と地方財政の課題」 講師：川瀬光義氏（京都府立大学教授）</p> <p>第 2 講義 「介護保険『改革』に自治体はどう向き合うか」 講師：石川満氏（元日本福祉大学教授）</p> <p>第 3 講義 「子どもの成長・発達と『小中一貫教育』・『学校統廃合』」 講師：荒井文昭氏（首都大学東京教授）</p> <p>第 4 講義 「子どもの貧困と幼児政策の課題」 講師：池上洋通氏（自治体問題研究所）</p>
	まとめ（感想・市政に活かせること等）。	視察報告書は別紙

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

以下、議員研修に参加してのレポートを提出いたします。

【総括とこれから】

1講座2時間で15,000円という議員講座が多い中で、多摩住民自治研究所は1日半かけて4つの講義が行われ、参加費も22,000円と非常に割安であった。

内容も、国家予算と地方財政という財政面の総論から、介護保険制度、小中一貫校・学校統廃合、子どもの貧困と幼児政策と、福祉教育委員会に所属する私にとって、どのテーマも非常に關心ある課題であった。とりわけ、小中一貫校や学校統廃合については、平成29年3月定例会の一般質問で、学校教育の充実をテーマに行うので、とてもタイムリーで質問内容にも反映することができる。

またテーマ別に分科会が持たれ、教育のテーマに参加したが、各地方議会議員の方たちの積極的な発言に大いに刺激を受けた。年に1回行くことになっている通常研修はあるが、テーマが限られており、選択の幅が狭い。このように自分が強い興味を持って参加する研修（他の議員の方たちもそのようで、意欲の高い方が多かった）に今後も積極的に参加していきたい。

【講義メモ】

第1講義 テーマ「2017年度国家予算と地方財政の課題」

講師：川瀬光義氏（京都府立大学教授）

・政治の役割 サービスの内容を確定し必要な歳出規模を決める：入を量りて出を制す
無償サービスは義務教育や道路に限定。所得制限（分断線）が付いたサービスが多い。

「ワニの口」が示すもの。これだけ歳出が必要なのに歳入（税収）が低いのは、その負担を有権者が同意する水準が低いのでは。→政治が自信をもって政策を進めていない。

・2017年度の予算の注目点

当初予算の財政再建と補正予算での景気対策による赤字拡大。

社会保障費や地方交付税の縮小には躍起

・「成果主義」に動員される自治体財政

地方財政計画における近年の歳出は横ばい。中身を見ると社会保障関係費が増加しているが、その増加分を給与関係費、投資的経費の減で吸収している。喫緊の課題をこれまでと同様の対応を続けることは困難。さらにこれ以上の公務員減少は限界に。地方公務員の減少と非正規職員の増加。地方財政の財源不足。不足分約7兆円の2/3を臨時財政対策債を発行。

16年度から交付税算定において「トップランナー方式」導入。成果の出た（合理化の進んだ）ところを標準にした算出方式。地方交付税の趣旨に反さないか。

・財政を再建するとは収支のつじつま合わせではない。財政をよくする王道は住民の信頼を獲得を大前提に税収を増やすこと。財政の軍事化に警戒を。

第2講義 テーマ「介護保険『改革』に自治体はどう向き合うか

講師：石川満氏（元日本福祉大学教授）

・介護保険制度について

地域包括ケアも聞こえがいい、処遇改善加算も29年度から。但し、全て介護保険料のポケットに入れてしまう。利用者の負担が増える。国庫で負担すべき。地域包括支援センターの拡充（予算増、専門職の人員増など）を一般財源を投入すべき。（してないの？）介護保険の枠の中で考えるのは無理。

・在宅死亡率の高さから地域包括ケアの状況が見て取れる。

第3講義 テーマ「子どもの成長・発達と『小中一貫教育』・『学校統廃合』」

講師：荒井文昭氏（首都大学東京教授）

・成長や発達とは何かとすることを抜きにした学校教育改革は危うい。しかし教育理念こそが大事。

・小中一貫教育や統廃合の背景

総務省 2014年 公共施設等総合管理計画策定要請

文科省 2015年 学校適正規模新通知

・義務教育学校とは？（学校教育法の改正による）

学校教育制度の多様化と弾力化を推進するため、小中一貫教育を実施することを目的とする義務教育学校制度を創設

併設型は既存のものを一つの学校にする

連携型は

小中一貫型（併設型・連携型）との違いは

・小中一貫は教育学者の中では、初等教育（小学校）と中等教育（中学校）を混在させるのはおかしいという意見がある。

・単学級のデメリットもあるが、それだけではない。どちらの形もあり得る。自治体がどちらを選択するか。どちらにしても自治体はそれを支援する。というのが考え方。しかし学制の改革とセットになって適正規模の方が重要視され、統廃合が進む。財源不足もあり。

・地域と学校の連携政策動向と”市民立学校”

すべての学校にコミュニティスクールと地域学校協働本部の設置。（文科省、馳プラン）

【当日会場で増田望三郎が行った質問】

①新たな取り組みはいいが学校がそれを受け入れようとしているか。

受け入れたくてもその余裕があるのか。

↓

学校を開いたら子どもが生き生きする。それを先生を喜んで頑張る。その子供にとって多様な学びを先生は喜んで学校を開く。

社会教育に対して慎重なのはまだ実感が無いから。
開いた方が大変が8割（生徒が不安になる）。楽になる2割。
手続きがない。具体的な条件整備を行うべき。

②教育機会確保法について

↓

多様な教育の確保ではなく、学校不登校の支援に特化法になってしまった。
学校以外の場を学校がどう認めていくのかは慎重な議論が必要。

●分科会 教育

- ・学校統廃合の権限は市長にどれだけあるのか。
予算の権限は市長、なので市長には統廃合の権限はなく、教育長にある。
逆に言えば予算についての権限は教育長にはない。
- ・小中学校を県立がないのはなぜか？それは子どもの顔が見える地域（市区町村）でやるべき。
小中の設置権限を市が持っているので小中の括りで一貫校をやっている。
- ・高校までを視野に入れての小中一貫校。

第4講義 テーマ「子どもの貧困と幼児政策の課題」 講師：池上洋通氏（自治体問題研究所）

- ・生活不安により国民の貯蓄が増える。1700兆円。国債の95%は内債といって金融機関が国民の貯蓄をもとに発行されている。自国の通貨建て。一方アメリカは半分を外債にしている。
- ・地域社会をなくしている児童、そして終末。23区の引き取り手のいない死体が3000体を越した。
- ・地域現場の実情が見えている議会や行政職員の仕事。

別紙

政務活動実施状況

活動名	みどりネット信州政策研究会への参加 参加者：小林純子 ※年会費 5,000 円	
活動区分	①調査 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	「持続可能な社会」を目指し、環境、人権、平和、市民の権利などについて調査研究、政策提言、広報活動を行うため。	
活動の概要	日時	① H28年4月3日(日) 午後1時半～塩尻市えんぱーく ② H28年5月9日(月) 午後2時半～長野市もんぜんぶら座 ③ H28年7月10日(日) 午後1時半～豊科交流学習センター ④ H28年10月31日(月) 午後1時半～長野市もんぜんぶら座 ⑤ H28年11月28日(月) 午後1時半～豊科成相集会所 ⑥ H29年2月16日(木) 午前9時半～長野市トイゴ
	研修先・主催者等	みどりネット信州主催
	報告内容・実施したこと。	① 我が国の廃棄物問題の解決のために 講師：関口鉄夫氏 ② 議会改革の取り組みについて 講師：寺島渉氏(飯綱町議長) ③ 図書館の持つ可能性と有効活用の仕方 講師：内野安彦氏 ④ 長野県の環境エネルギー戦略 講師：片瀬雅崇氏(県職員) ⑤ 会員自治体の事例研究 ⑥ 総会と公開講座 地方財政計画と国保広域一元化 講師：井奥雅樹氏(高砂市議)
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	① 欠席 ② 欠席 ③ 塩尻市の市民交流センター「えんぱーく」の中心施設である塩尻市立図書館。その開館準備から携わった元館長の内野安彦さんから、図書館の民間委託を検討している安曇野市にとって、示唆に富む貴重な話を聴くことができた。 ④ 欠席 ⑤ 会員や所属の自治体や議会の課題を持ち寄り、意見を出し合ったり、一緒に考えたりすることで、解決の糸口が見出せるものがあった。 ⑥ 29年度の地方財政に係わる国の方針と、そこから見えてくる課題等、新年度予算審議に向け非常に役立つ内容だった。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	政務活動に関する資料購入	
活動区分	④資料購入	
活動の目的	政務活動のために資料購入をする。	
活動の概要	報告内容・実施したこと。	<p>政務活動のために資料購入をした。</p> <p>図書 書籍6冊</p> <p>『図説 穂高神社と安曇族』 穂高神社 龍鳳書房</p> <p>『安曇皇統の抹殺と八面大王の正体』 小林 耕 新潮社</p> <p>『信州まちなみスタディーズ<佐久穂> 谷あいの集落にたたずむ近代化の遺構』 信州大学経済学部武者忠彦ゼミ、長野県建築士会 信濃毎日新聞社</p> <p>『知っておきたい長野県の日本一 「しあわせ信州」の秘密』 加瀬清志 信濃毎日新聞社</p> <p>『信州まちなみスタディーズ II <小諸>坂のある城下町の曲がり角』 信州大学経済学部武者忠彦ゼミ、長野県建築士会 信濃毎日新聞社</p> <p>『世界一子どもを育てやすい国にしよう』 出口治明・駒崎弘樹 ウェッジ</p>

	<p>まとめ（感想・市政に活かせること等）</p>	<p>政務活動のために購入した資料を活用し、安曇野市政に役立 てたい。市議会議員の任期を通じて十分に活用していきたい。 安曇族の研究や理解を深めることにより、安曇野のプライド を高めたり、安曇野ブランドを地域おこしやまちづくりにつな げたり、安曇野を発信していったりするために、役に立ってい る。 また、地方創生の一環として安曇野を活性化していくために、 まちなみスタディーズや長野県の日本一や世界一子どもを育て やすい国の発想などを、役に立てていきたい。</p>
--	---------------------------	--

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後に
まとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	政策立案につなげるための議員調査研究活動	
活動区分	①調査 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	議員としての資質の向上と政策立案能力を高めるため	
活動の概要	日時	随時
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	<p>・議会改革に関する書籍の購入</p> <p>1、先進事例でよくわかる議会事務局はここまでできる！</p> <p>2、地方議会を再生する 相川 俊英（著）</p> <p>3、第23回全国市民オンブズマン香川大会資料集（2016年9月24日～25日開催）</p>
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	<p>1、先進事例でよくわかる議会事務局はここまでできる！</p> <p>本書は、議会の現場に携わってきた「議会事務局研究会」のメンバーと気鋭の研究者が、それぞれの経験と挑戦、研究からつかみとった「議会事務局の仕事、そのあり方とその役割」についてQ&Aで整理し、さまざまな事例を取り入れて詳細に解説している。</p> <p>「執行部と事務局」、「議会と事務局」の関係性を再認識し、議会改革という時に議会事務局改革が平行して進んでいかなければ、真の意味での議会改革にはならないと痛感した。</p> <p>2、地方議会を再生する 相川 俊英（著）</p> <p>本書は、緻密な取材に基き、飯綱町の政治再生のプロセスを描く。具体的な事例に基づいた地方政治の処方箋であり、「地域再生」のプロセスを綴った感動のドキュメントである。</p> <p>長野県飯綱町は、三セクのスキー場経営の失敗等で財政破綻寸前となり、そこまでなにも気付かなかった議会は厳しい批判を浴びた。しかし、その後の町議会は深い反省の上に、議会改革に着手し成果を上げてきた。具体的な事例に基づいた内容は、地方政治や議会改革の処方箋となるものであった。</p>

	<p>3、第23回全国市民オンブズマン香川大会資料集（2016年9月24日～25日開催）</p> <p>政務活動費公開度・使い切り率全国調査、政務活動費意識調査、口利き記録アンケート調査、国の情報公開審査会の活用法、2015年度落札率調査・談合疑惑度ランキング、自治体電力購入・売却調査、各市民オンブズ（マン）活動報告 など約400ページの冊子</p> <p>政務活動費に対する市民の不信感にどう対処するか、不正使用の再発防止のために何が必要か、議会や議員が自ら考え取り組む必要がある。議会改革以前の問題だということを肝に銘じるべき。</p>
--	---

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。政務活動実施状況

別紙

政務活動実施状況

活動名	政策立案につなげるための議員調査研究活動	
活動区分	①調査 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	議員としての資質の向上と政策立案能力を高めるため	
活動の概要	日時	随時
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	・18歳選挙権と公民教育に関する書籍の購入 1、あなた自身の社会—スウェーデンの中学教科書 2、18歳からの民主主義
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	1、あなた自身の社会—スウェーデンの中学教科書 本書は、13歳から年齢とともに増大する法律的権利と義務、消費者としての基礎知識、行政と住民の役割、社会保障制度とその内容が、豊富で生き生きとしたエピソードを通して平明に解説されている。大人が読んでも読み応えがあり、なにより自分の頭で考えさせる事例が満載で、日本の公民教育の貧弱さを感じた。 2、18歳からの民主主義 これから初めて投票に行く人も、しばらく行っていない人も。この本は、そんな人たちのための本です。憲法、景気、雇用、教育、医療、社会保障、税金、……。ミンシュシュギって何？ 選挙って、何のためにあるの？ ゼロからわかるポイントを、その道の達人たちが、的を絞ってやさしく解説。 「これから初めて投票に行く人」は期待通りの内容であることは間違いなく、うれしいのは「しばらく行っていない人」にとっても、あらゆる世代からの熱いメッセージに心動かされるものになっているところ。民主主義へのガイドブックとして秀逸。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。政務活動実施状況

別紙

政務活動実施状況

活動名	政策立案につなげるための議員調査研究活動	
活動区分	①調査 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	議員としての資質の向上と政策立案能力を高めるため	
活動の概要	日時	随時
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	<p>・地方創生に関する書籍の購入</p> <p>1、ふるさと納税の理論と実践（地方創生シリーズ）</p> <p>2、町の未来をこの手でつくる 紫波町オガールプロジェクト</p>
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	<p>1、ふるさと納税の理論と実践（地方創生シリーズ）</p> <p>ふるさと納税に関して、賛否両論ある中、支持を得て寄附を集め、地方創生を実現していくために必要な理論とその実践について解説しているが、理論的には理解できても、この制度が本当に地方創生につながるかといえ、私にとってはいまだ疑問。安曇野市のふるさと納税のあり方について、考えてみたい。</p> <p>2、町の未来をこの手でつくる 紫波町オガールプロジェクト</p> <p>補助金ありきの公共事業は過去のもの。公共サービスの充実とハコモノ建設は両立しない時代の行政のあり方を示してくれている。安曇野市が進めている新総合体育館建設が、本当に市民のためになるものか、市民が望んでいるものか、基本に立ち返って考えさせるに十分な内容。</p>

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。政務活動実施状況

別紙

政務活動実施状況

活動名	政策立案につなげるための議員調査研究活動	
活動区分	①調査 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	議員としての資質の向上と政策立案能力を高めるため	
活動の概要	日時	定期購読
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	・議員 NAVI の定期購読
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	<ul style="list-style-type: none"> ・地方議会議員に必要な政策立案・実行に関する情報を「情報誌」と「専用 WEB サイト」から入手できる。また、公布された法律はすべて掲載されているので、法律の制定状況・法律の概要・市区町村への影響等を必要に応じてすぐに調べることができるので重宝している。 ・情報検索提供サービスを利用して、一般質問や政策提案に役立てた。（市長交際費や市交際費に関する法令、資料等。地域決定型地方税制特例措置・通称：わがまち特例に関する法令、資料等。太陽光発電施設などの再生エネルギー発電施設用地の課税に関する検討がなされている市町村の検討資料や関係情報等）

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。政務活動実施状況

別紙

政務活動実施状況

活動名	政策立案につなげるための議員調査研究活動	
活動区分	①調査 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	議員としての資質の向上と政策立案能力を高めるため	
活動の概要	日時	随時
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	・社会福祉や障がい者福祉に関する書籍の購入 1、市民活動総合情報誌『ウォロ(Volo)』 2、現代思想 2016年10月号
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	1、市民活動総合情報誌『ウォロ(Volo)』 社会問題そのものの紹介よりも、その問題に市民やNPO/NGOがどのようにかかっているのか、また、かかわる必要があるのか、という視点を大切にしている市民活動総合情報誌。福祉とヴォランティア、社会活動の原点を考えさせられる。 2、現代思想 2016年10月号 急特集*相模原障害者殺傷事件(青土社) 相模原の障害者施設「津久井やまゆり園」で入園者19人が殺害された事件を扱った特集号。衝撃的な事件のため、つい感情的に流されてしまいがちなところを、障害者に対する差別の歴史、優生思想の変遷と現代的回帰、精神障害者医療のあり方、ケアをめぐる労働問題など、さまざまな視点を通して問題を読み解く糸口を与えてもらった。 議員として福祉に係わるとき、通り一遍の理解ですますことはできないと強く感じさせられた。また、事件に潜む社会的な病巣があるのではと考えるとき、自分自身に差別意識はないのかと、問いかけざるをえなかった。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	政策立案につなげるための議員調査研究活動	
活動区分	①調査 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	議員としての資質の向上と政策立案能力を高めるため	
活動の概要	日時	新聞の定期購読
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したごと。	新聞の定期購読 1、「日本教育新聞 Web 版」 http://www.kyoiku-press.co.jp/ (2016年4月～8月)と「日本教育新聞」(2017年2月～3月)の定期購読 2、「婦人民主クラブ新聞・ふえみん」の定期購読
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	1、日本教育新聞 「教育」だけに特化し、週刊で情報を提供している新聞。 Web版は日本教育新聞データベースを利用でき、過去記事を検索できるが便利。 ・ No. 6093号(2017年03月13日号)知的障害教育を充実、等々の記事が特に印象に残っており、No. 6059号(2016年06月13日号)こう変わる 高校の教科・科目構成、No. 6084号(2017年01月02日号)アクティブ・ラーニングへの対応 次期指導要領で、等々が印象に残る記事で、議員活動の課題として今後も調査研究していきたい。 2、婦人民主クラブ新聞・ふえみん 女性、ジェンダー、平和、環境をはじめとする、様々な課題に役立つ情報が得られるため定期購読している。 ・ 3143号(2017/1/15)日本が米国と同じ道を歩むことを危惧する元米兵「イラクでは、私たち米兵がテロリストだった」、3145号(2017/02/05)【連載】避難の権利はどこへ②それぞれ違う選択がある、3148号(2017/03/05)家庭教育支援法の問題点

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

		<p>3、月刊 DAYS JAPAN デイズジャパン</p> <p>「権力の監視」というジャーナリズム本来の役割を担い、「人間の命と尊厳」「自然の環境」を守り、表現しようとするフォトジャーナリズムを中心にした雑誌。</p> <p>・2016年7月号・日本会議 安倍政権を動かす「黒幕」か「実直な市民」か、私たちの税金どこへ行く、2016年9月号・小児甲状腺がんを追う～母になった被災者たちの証言、コラム（編集委員）おしどりマコ・ケンの実際どうなの!?, 2016年12月号・シリーズ「豊かな暮らし」の向こう側～最高級クロマグロはどこから来るのか等々、印象に残る記事が多く、議員としての資質の向上や幅広い知見を得るために役立っている。</p>
--	--	--

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	日本の政治・経済・財政・文化・伝統の地域づくりの情報収集と調査研究	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	市政の政策判断、提言のため	
活動の概要	日時	平成 28 年 4 月 1 日 () から 平成 29 年 3 月 31 日 () まで 時 分から 時 分まで
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	新聞「赤旗」、雑誌「経済」「農民新聞」雑誌「世界 4 月号別冊」と「TPP と信州農業」「TPP 黒い条約」「TPP 亡国論」「亡国の密約 TPP」「TPP と農林業・国民生活」「FTA と TPP」を購入し調査研究した。
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	政府からの情報は圧倒的多数のメディアによってもたらされる。情報が言動事実の全貌ではないことにより、世論形成はメディアの取り上げ方で誘導されやすい。国政は即、市政の課題になり、市民生活に影響を与える。決して国会の問題ではない。顕著な例は TPP 協定文成立合意を受けて、政府は TPP 協定の国会批准手続き前に、異例の TPP 協定対策の農業関連補正予算を組んだ。市はこれを受けて、国からの配分金額が未定であるにもかかわらず補正予算案を提出し、成立させた。アベノミクスの破綻、TPP 協定問題、消費税増税を含む税制問題、戦争する国づくりの憲法問題・軍事費問題、原発問題、社会保障、貧困問題等々市民生活に影響のある事項が満載である。議会代表・一般質問や発言討論等で取り上りたり、議員活動報告会で市民に伝えた。安保法制廃止と TPP 協定反対を呼びかけている。

別紙

政務活動実施状況

活動名	国政・市政の政治大原則である「日本国憲法」と平和・戦争の問題を学ぶ。	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	政治の目的は国民・市民が幸せになることである。それは自由で、豊かで、平和であることを要件とする。これに反する政治をさせないため憲法13条守ることである。	
活動の概要		平成28年4月1日()から 平成29年3月31日()まで 時 分から 時 分まで
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	「憲法改正の真実」、「憲法と政治」、「小林節の憲法改正試案」を購入し、日本の政治・政府自民党政治が現憲法に逆行した政治を行い、憲法を変えようとしているかを調査研究した。また「日本はなぜ『戦争のできる国』になったのか」を購入し、非戦平和の憲法がありながら、9条に違反する集団的自衛権の行使を容認し、自衛隊が武力行使することの問題を研究調査した。
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	憲法に定める人間尊重・平和主義・基本的人権の観点から安保関連法制に反対し、憲法9条による平和主義を守り戦争を絶対してはならない。そのための議会討論・議員活動報告会・市民集会等々で発言し、理解を得ることに生かした。市民の皆さんが主権者として自覚し憲法に基づく政治判断ができるように情報発信をしていくことは大変に重要である。

別紙

政務活動実施状況

活動名	戦後 70 年間日本は戦争をしなかった、その元になった太平洋戦争の歴史をしっかりと検証し、今後の政治のあり方を学ぶ。	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	現在日本の政治状況を歴史の中で正しく認識し平和な社会を築き続けていくため。	
日時	平成 28 年 4 月 1 日 から 平成 29 年 3 月 31 日 まで	
研修先・主催者等		
報告内容・実施したこと。	「核の戦争史」、「あの戦争はなんだったのか」、「そしてメディアは日本を戦争に導いた」、「なぜアメリカは対日戦争を仕掛けたのか」を購入し、太平洋戦争の真実、メディアが戦争に協力していく過程、世界戦争の中で日本がアメリカと戦争するように仕向けられていることを見抜けなかった日本の指導者。被爆国日本と今現在続く核兵器廃絶問題等について、調査研究した。	
まとめ(感想・市政に活かせること等)	戦後 70 年間先進国の中で戦争をしなかった国は唯一日本だけである。太平洋戦争と今後の平和外交のありかたを正確に情報発信していかなければならない。そのために歴史から学ぶことは大変重要である。日本の政治がこの 3 年間軍事化していく方向にある。市民の皆さんが平和を守る運動するのに、情報発信が重要である。	

別紙

政務活動実施状況

活動名	日本の政治社会状況について 政府の情報の真実を捉えるために学ぶ。	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的		
	日時	平成 28 年 4 月 1 日 () から 平成 29 年 3 月 31 日 () まで 時 分から 時 分まで
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	「21 世紀の戦争と平和」と「泥沼ニッポンの再生」により現在の政治の平和・軍事の取り組み、解決の取り組みを調査研究した。「政府は必ず嘘をつく」、「子どもたちを戦場に送らない勇氣」により、権力担当者が、つくウソから正しい政治への道を調査研究した。
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	日本が発信する憲法に対する政治状況を正しく認識し平和な社会を作っていくために情報発信をし、市民運動を進めている。

別紙

政務活動実施状況

活動名	行政サービスのあり方について学ぶ。	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	安曇野市は保育園と図書館について民営化を進めようとしている。未満 児保育については 29 年度から一部始まる。的確な判断・提言が必要である ため。	
	日時	平成 27 年 10 月 16 日 () から 平成 28 年 3 月 31 日 () まで 時 分から 時 分まで
	研修先・主 催者等	
	報告内容・ 実施したこ と。	「自治体民営化と公共サービスの質」を購入し、他の書籍と合 わせて、地方自治体の政治のあり方を調査研究した。
	まとめ(感 想・市政に 活かせるこ と等)	議会代表・一般質問でも公共サービス(保育園・図書館) の民営化について質問した。十分な検討をし、議会としても 対応しなければならない。

別紙

政務活動実施状況

活動名	市議活動だより（市議広報紙）の発行	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	増田望三郎市議の活動を市民に広報するため	
活動の概要	日時	年4回、定例会後に作成し、平成28年4月12日、7月11日、10月11日、平成29年1月10日に新聞折り込み広告にて配布。
	研修先・主催者等	増田望三郎市議活動広報紙『レインボウ通信第10号』、『レインボウ通信第11号』、『レインボウ通信第12号』、『レインボウ通信第13号』の発行。
	報告内容・実施したこと	・議員活動の広報紙を作成し、新聞折り込みや市議活動報告会等で配布した。レインボウ通信は毎回定例会後に発行し、今年度は4回発行した。作成費用・新聞折り込み広告費用の一部に政務活動費を使わせて頂く。なお、該当の広報紙を添付する。
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	・市民から意見が寄せられたので、今後の活動に活かしたい。 主な意見は、 1、定例会ごとに行う会派の報告会を本通信を通じて知ることができ、参加ができています。 2、総合体育館建設計画について継続的に発信をしており、市民として状況を知ることができた。引き続き、状況を知らせてほしい、と言う声があった。 3、マンガで市政の様子や議員活動の取組を知らせる試みは、他の議員にないもので、新しい風を感じる。今後も期待する。 ※広報紙作成・折込広告代で111,180円のうち、約1/5の24,691円を会派としての広報広聴とみなし政務活動費に充当。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	ホームページの運営管理	
活動区分	①調査 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	議員の活動を市民に広報し、広く市民の意見・提案を求めるため	
活動の概要	日時	随時（一か月に数回のペースで情報更新）
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	・ホームページによる広報広聴を行った。 小林純子 http://junko.voicejapan.net/
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	市民から多くの意見や相談が寄せられたので、今後の活動に活かしたい。調査検討して行政に提案中のものもある。 主なものは、次の通り。 1、子ども食堂についての意見、相談。 2、循環型社会へ向けてゴミ処理の課題について。 3、安曇野市情報不存在決定通知書について、異議申し立てをしたいという相談。 4、新総合体育館建設について、説明を求めるメールや疑問や反対の意見が多数寄せられた。 5、中学校の保健体育「武道」に「銃剣道」が加わることや、安倍内閣が教育勅語を憲法などに反しない形で教材として使うことを認める閣議決定をしたことについて懸念多数。 6、教育相談、生活相談、DV相談、パワハラやモラハラ等の労働相談など。 *経費について ・ホームページの運営管理費 44,100 円のうち、1/4 (11,025 円) を会派としての広報広聴とみなし政務活動費に充当。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	会派の活動報告会 『民心・無所属の会 活動報告会』	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	議員の活動を市民に広報し、広く市民の意見・提案を求めるため	
活動の概要	日時	平成28年4月23日 豊科交流学習センター 平成28年4月26日 穂高研成ホール 平成28年7月18日 三郷公民館 平成28年7月28日 穂高会館 平成28年10月21日 豊科交流学習センター 平成28年10月23日 明科公民館 平成29年1月18日 穂高会館 平成29年1月21日 堀金公民館
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	・各定例会ごとに、5地域の中で2地域づつ報告会を開催し、定例会の報告と市民との意見交換を行う。 ・また毎回特別トピックを設け、旬な行政課題について詳細に説明する時間を設けている。これまでは体育館建設計画、三郷菜園、保育園民営化、議員定数減などを取り上げた。
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	市民から出た主な意見 ・体育館建設計画について、市は10%高騰しか見ていないが、特例債期限で作り切るとなるとさらに高騰してしまう。 ・保育園と図書館の民営化には絶対反対。資本（税金）は人につぎ込むべき。営利企業にさせてはダメ。 ・議員定数減について。民意をくみ取るには議員が増えた方がいい。言いなりの議員なら居なくてもいい。 反省点) ・託児環境を整え、母子での参加をしやすくしたが、結果参加は1組だった。子育て世代に対しての訴求に一考が必要である。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。